



元気な木こりと水の妖精

12月9日 仁科認定こども園 にこにこ発表会

12月定例会

2~3

第4回臨時議会

4

一般質問

6~13

議会の動き

14~17

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。



ふるさと 応援寄附金 15億円

開催期間	12月7日から12月8日まで
審議した案件	町長提出議案 6件
可決した主な議案	一般会計補正予算（第7号） 国民健康保険条例の一部を改正する条例 国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 水道事業会計補正予算（第1号） 温泉事業会計補正予算（第1号）

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算 （第7号）

（全員賛成）

補正額は8億9488万5千円の増額です。

歳入で主な額は、ふるさと応援寄附金5億円と、ふるさと応援基金から3億1902万円の繰り入れです。

歳出で主な額は、ふるさと振興費3億1902万円（返礼品、送料など）基金積立金5億円（寄附金を基金に積み立てる）などで、これにより一般会計の予算は84億3671万円になります。

農林水産物直売施設 管理費 1000万円

問 はんばた市場には、いつ

まで補助金を投入していくつもりか。

答 コロナがどの程度長引くか予測はできないのでいつまでとは区切れないですが、営業主の企業組合には頑張っていたきたい。

問 企業組合の経営責任は。

答 コロナでも営業し続けたということで赤字を増額している部分があるので、社会情勢の変化ということで補助しています。3年の契約ですので、企業組合がもうできないとなったら直営という話になるかと考えます。

まち・ひと・しごと創生事業 1000万円

問 地域再生エネルギー導入

戦略策定支援業務とは。

答 西伊豆町のCO₂がどれくらい出ているのか、また、削減するための調査を進めていく事業です。

債券売却収入 1230万円

問 債券運用を今後とも続けるのか。

答 上限6億円の中で運用していきたいと考えています。

新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業補助金

1182万4千円

問 このワクチンは何人分を予定しているのか。

答 三回目のワクチン接種は65歳以上の集団と医療機関従事者の4000人弱を予定しています。

見込み

◎本年度のふるさと応援寄附金は、令和4年3月末で15億円の寄附を見込んでいます。

◎寄附金から返礼品代、ネット手数料、送料、諸経費などを引いた、約5割の額を基金に積み立てながら、予算にも活用しています。

国民健康保険条例の一部改正 (全員賛成)

健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金を40万8千円に、必要があると認めるときに加算する額を上限3万円に、増額するものです。

問 必要があると認めるときとは。

答 産科医療補償制度の掛金です。

※(分娩に関連して発症した重度脳性麻痺のお子様とご家族の経済的負担を速やかに補償などを行うための掛け金です。)

国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (全員賛成)

一般被保険者療養費8500万円、同高額療養費3000万円など合わせて1億1530万円を増額するものです。

問 大きな増額だが何か特別な要因があったのか。

答 新生物(ガン)の腫瘍などが昨年よりも増えていません。入院給付費は筋骨格系が4000万円ほど、消化器は500万円ほど増えるなど、療養費が伸びています。

介護保険特別会計補正予算(第2号) (全員賛成)

前年度からの繰越金1億7156万645円から補正済み額596万4千円を引いた額を全額計上し、基金に1億3000万円を積み立てるものです。

温泉事業会計補正予算(第1号) (全員賛成)

令和2年度決算確定に伴い令和2年度分事業を追加し、103万4千円を増額するものです。

問 減価償却費で構築物48万9千円となっているが、この構築物とは何か。

答 堂ヶ島温泉のインバーター工事による配湯ポンプ

2基の設置の分です。

問 配湯ポンプが予算項目で構築物としているが機械及び装置ではないのか。

答 予備などでポンプを単体で買った場合は機械及び装置という形を取りますが、ポンプを買って据え付ける工事と一体でやっていますので、今回は構築物として処理しました。

水道事業会計補正予算(第1号) (全員賛成)

令和2年度決算確定に伴い、令和2年度事業分の減価償却費など511万円を増額し、岩谷戸地区水道管布設工事延期により改良費1800万円を減額するものです。



「はんばた市場」には、おいしい海産物があります。お気軽に!

第4回臨時会

令和3年10月5日

令和3年度旧西伊豆中学校校舎等解体工事請負契約の締結について

(賛成6：反対3)

表題について、

- ・契約目的：旧西伊豆中学校校舎等解体工事
- ・契約方法：一般競争入札
- ・契約額：1億2540万円
- ・落札者：静岡県伊豆市土肥青木・国本特定建設工事共同企業体
- ・概要：校舎3階建・給食棟・体育倉庫・屋内運動場の解体工事
- ・安全確保対策：交通誘導員の配備及び高さ2mの仮囲いを設置する。
- ・工期：令和3年10月6日から令和4年3月25日まで
以上の内容で請負契約の締結をしました。



解体前の旧西伊豆中学校の体育館



解体前の旧西伊豆中学校の校舎

問 解体工事への入札参加は何社あったのか。

答 3社です。

問 解体はどのような行程で進めていくのか。

答 屋内運動場（体育館）につきましては令和3年11月から令和4年1月までの3ヵ月間、校舎については令和3年11月から令和4年3月までの約5ヵ月間を見込んでおります。

問 解体工事の予定価格は。

答 消費税抜きで、校舎につきましては9801万円、給食棟は446万円、屋内運動場が2777万円、外構・体育館倉庫その他で604万8千円、合計で約1億3630万円になります。

問 毎度のことだが今回も92%と落札率が高く、適正な入札が行われているか疑問だ。

答 落札率92%は消費税抜きで、消費税込みですと83.6%ですので高くはないと思います。

問 受変電設備はどうなるの

か。仁科小学校とは関連はないのか。

答 太陽光パネルについては経年劣化のため廃棄します。受変電設備は中学校単独施設ですので、これも廃棄します。

問 解体に際し、土砂災害特別警戒区域に指定される場所を含みそうだが、それを考慮する必要はないのか。

答 解体に伴う工事の届出だけで急傾斜地に関する届けは必要ありません。

反対討論 教育施設の新築は、金額がかかり過ぎるとして多数の町民は、建設費の削減をもとめている。校舎は改修として建設費の削減のため、小学校・中学校いずれかを改修するか決めてから、解体工事をすべき。従って、中学校の解体を含む工事は反対。

賛成討論 この案件は半年以上前に決定し予算通過しており、反対討論はその時すべきである。従って賛成。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

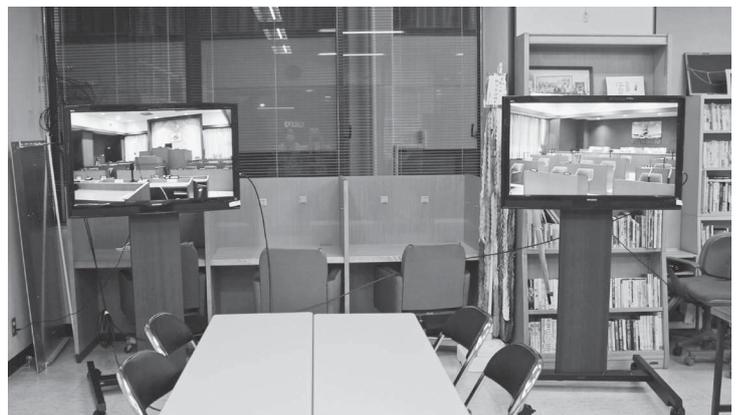
議長（山田厚司）は採決に加わりません。

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤豊	芹澤孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤和夫	増山勇	議決結果
第4回臨時会	令和3年度 旧西伊豆中学校校舎等解体工事請負契約の締結について [契約金額1億2540万円、旧西伊豆中学校の校舎(RC造)、給食棟(鉄骨造)、体育倉庫(木造)、屋内運動場(鉄骨造)の解体工事に関する請負契約を締結するもの]	○	○	○	×	×	○	-	○	×	○	可決
12月定例会	西伊豆町国民健康保険条例の一部を改正する条例案について [産科医療補償制度の見直しによる出産育児一時金の支給額を変更するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和3年度西伊豆町一般会計補正予算(第7号) [8億9488万5千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和3年度西伊豆町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) [1億1530万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和3年度西伊豆町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) [1億6559万7千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和3年度西伊豆町水道事業会計補正予算(第1号) [支出を511万円増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和3年度西伊豆町温泉事業会計補正予算(第1号) [支出を126万8千円増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決

役場1階ラウンジで議会の映像配信を始めました

12月定例会から、音声のみであった役場1階ラウンジで、議会の映像配信を始めました。

3階議場まで上がらなくても、気軽に傍聴できますので、是非ご利用ください。





ます やま いさむ
増山 勇 議員

来年度の重要施策は

(町長) 学校給食の半額補助を検討

質問 令和4年度の重要施策は、何を考えているのか。高齢化対策・子育て支援は。

町長 予算編成方針を出し、現在令和4年度予算を組んでいるところです。

各担当で、実行に移すことができるか、財源や、財政的に大丈夫なのか、今後の費用対効果はどうか、など検討し進めています。

3月議会での予算案を提出する前に、具体的な答弁は出来ません。ただ、方向性としては、バス・タクシー助成以外の交通対策を検討します。また、学校の給食費の半額補助を検討中です。

質問 高齢者への交通対策の町の取り組みは。

町長 社会福祉協議会が進めています「ささえ愛西伊豆」で実施されています。その検証結果を町として、車輛や保険など検討し、足の確保や生活支援につなげていきたいと考えています。

質問 給食費の全額負担はで

きないのか。

町長 財政的にいきなり全額負担は厳しいので、半額程度で検討中です。

斎場建設を早く

区と議会の理解とご協力を

質問 広域ごみ焼却場と関連していると、斎場建設が遅れるばかりだ。斎場建設は、これとは関連させず決めることが必要ではないか。

町長 地域説明会の最後に「煙突が二つある」ことが問題との意見があり、慎重に進めています。焼却場の

候補地を下田市が確定しておらず、新たに地区説明することができない状況です。

質問 議会の理解とはなにか。

町長 以前に全員協議会を行って議員の意見がなかなか出ませんでした。是非議会での意見をまとめていただければありがたいです。

田子地区と議会の理解がいただければ、早く進めていきます。

質問 町が議会に協議会を開くことを要求しては。

町長 議長主催の全員協議会で検討してください。



一日も早く斎場建設を

農業収入保険の加入促進は

(町長) 加入が増えれば補助も検討



まつだ たかひろ 議員
松田貴宏 議員

質問 農業者に対する収入保険の加入促進は。

町長 大雨の降る機会も増えており、このようなものを利用して農業をしやすい環境を整えていく必要があると考えます。加入される方が5件10件と増えるようなことがあれば、補助なども検討する必要があると考えます。

質問 農業者年金の加入促進の考えは。

町長 農業委員会などでPRを行っていきたいと考えています。

質問 農地の支障の除去に関する農地法第42条に基づく措置命令は、必要に応じて出すべきと思うが。

町長 検討した中で必要などときには、そのような措置も講じていきたいと考えます。

国際ガラス年の対応は

盛り上げていきたい

質問 2022年は国連が定める国際ガラス年になったが、

町の対応は。

町長 10月25日にこの取り組みに賛同する意思表示をしました。黄金崎クリスタルパークの指定管理者である東海ビル保善と西伊豆硝子舎が取り組みを始めています。正式には決まっていますが、東海ビル保善はガラスの歴史を振り返る展示品を拡大、西伊豆硝子舎はガラス関連のイベントを実施する方向で検討しています。

町としては、それらにかかる経費を新年度予算に計上し、関係者と連絡をとりなが

ら、国際ガラス年を盛りあげて行きたいと考えます。

ポイント還元の効果は

問い合わせています

質問 サンセットコインのポイント還元では効果を検証する必要があると思うが。

町長 商店に直接お話を伺ったり、電話で問い合わせたりして、効果を検証しています。

まちづくり課長 皆さんが見てわかりやすい検証方法があれば、それを探して、公表していければと考えています。



この記念すべき年をガラスに関連する全ての人々で祝福を



あさかもと き 浅賀元希 議員

土砂災害対策工事への県の見解は

(町長) 県の見解を待たず事業を進める

質問 旧西伊豆中学校跡地が「土砂災害特別警戒区域」に指定された場合の対策はどのようなものか。

町長 裏山側の一階部分は、開口部のない腰壁の設置が必要となります。

質問 腰壁のほか、県による崖対策もあると思うが、県の見解はどのようなものか。

町長 まだ「土砂災害特別警戒区域」の指定が正式に出していないため、崖対策についても見解は出ていません。

質問 県の見解が出るのを待っていると益々遅れが出てしまうので、できることを進めるべきだと思うがどうか。

町長 町としては、危険な所に建設する訳にはいかないので、県の見解を待たずに事業を進めています。

先川地区の土地取得は

可能性は高い

質問 安全な場所として先川地区を考えに置き、地権者

の意向調査を行っているとのことだが、取得できる可能性は高いか。

教育委員会事務局長 現在、意向調査を実施しています。地権者からは代替地などの要望が有りますが、取得の可能性は高いと考えます。

安良里地区臨港道路冠水の原因調査は 今後検討していく

質問 安良里地区の臨港道路では、台風や高波の際に冠水し、通行が困難になるばかりか、床下や玄関先まで、

浸水する状況となっているが、対策を考えているか。

町長 冠水の状況は把握していますが、現状では具体的な対策はありません。

質問 フラップゲートに原因があると思うので、まずは、専門家による原因究明を行うべきと考えるがどうか。

町長 国土地理院に確認したところ、そもそも地盤が沈下しているとのことですので、それらを含めて検証させていただき、今後どうしたら一番良いか、考えていきます。



安良里臨港道路の冠水状況

コロナワクチン3回目の接種は

(町長) 令和4年2月21日以降



つみ 和夫 議員

質問 コロナウイルスワクチンの効力が8ヵ月と聞いているが、3回目の接種の計画はどうなっているのか。

町長 65歳以上の集団接種につきましては、1番早い方が6月1日に2回目の接種が完了しており、1番遅い集団接種の方が6月21日で終了していますので、そこから数えて8ヵ月後の令和4年2月21日以降に、3回目の接種を考えています。

質問 5歳から11歳までのワクチン接種はどうなっているのか。

健康福祉課長 5歳から11歳のワクチン接種は、まだ国の方から詳細なものが来ていません。

小中一貫校建設の進捗状況は

先川地区を提案

質問 6月定例会で、盛り土ができなくなったので、盛り土をしないで、小中一貫校を建設すると言っているが、その後の進捗状況はど

うなっているのか。

町長 建設費の面から批判的な意見があり、方針を変更せざるを得なくなった後に、次々に課題が発生し、時間の経過とともに旧西伊豆中学校跡地での建設に関しましては安全な場所と言う根底が崩れて現在に至っています。安全でない事が、県の調査で判明しましたので、先川地区への建設を提案させて頂きました。

G I G Aスクール構想の取り組みは

タブレットを活用し教育

質問 G I G Aスクール構想



うまくタブレットを使えたかな？

の当町の取り組みは。

町長 タブレットについては、一人に一台が行き渡っております。各学校において、各種アプリを使用し、授業のなかで写真や動画を撮影したり、インターネットによる調べ学習など、タブレットを活用しながら教育を行っています。

質問 学校配布のタブレット端末がコンピューターウイルスに感染するなどのトラブルが報告されているが、当町においてトラブルが発生していないか。

町長 今現在、トラブルは発生しておりません。



たか はし けい じ
高橋敬治 議員

大城太陽光発電施設の完了届は

(町長) 改善工事終了後に提出される

質問 大城太陽光発電施設は売電をしているようだが、工事完了届は出ているのか。

町長 崩落部や、排水路などの改善工事終了後に提出されることになっています。

質問 崩落部は明らかに盛り土で、ここを含めると林地開発許可申請の対象では。

まちづくり課長 「土地利用委員会」で業者に県の確認を取るよう指示しましたが、県の判断は林地開発には当たらないとの報告でした。今後、県の現場確認による指示に従い対応します。

質問 この施設を含み隣接する森林約25ヘクタールは、平成26年から天然更新を計画して皆伐されており、5年以内に確認調査が必要なはずだが行ったのか。

町長 発電施設の完成検査と一緒に実施する予定です。

質問 過去に天然更新完了調査をしたことがあるか。

産業建設課長 今まで、天然更新に関する調査を町が実施したことはありません。

今後の町有林整備予定は

毎年20ヘクタールほど

質問 来年度以降の町有林整備予定は。

町長 次年度以降については専門業者の意見を聞きつつ、毎年20ヘクタールほどの施業を考えています。

質問 現在は単年度入札だが、整備の効率化のために複数年契約を検討すべきでは。

産業建設課長 効率的とは思いますが、補助金の関係などで県の意向もあり、単年度で対応しています。

町長 林業を進めるうえでは必要ではないかと考えています。

質問 大沢里地区(沢入)の町有林崩落の対応は。

産業建設課長 4～5000㎡、概算で約500本の杉が倒れていますので、県や業者と相談して対応します。

質問 「森林整備事業補助金交付要綱」では、補助金の申請は森林組合を通じて行い、検査も組合が立ち会うとなっているが。

産業建設課長 現状では組合は関わりがないので、要綱を改正したいと考えます。



大規模な地滑りで崩落した杉の倒木

県GOTOイート再開に伴う経済支援は (町長) グルメスクラッチなどで消費喚起



つつみ
堤

ゆたか
豊 議員

質問 県GOTOイートの再開は、10月上旬頃より、スタートした。伊豆半島の商業施設や飲食店、観光地なども人が戻り始めてきた。町としても、グルメスクラッチなどの消費喚起対策などをして、町民及び観光客にも大変好評であった。これからも、西伊豆町の経済発展のため、支援事業を実施する考えは。

町長 町は、グルメスクラッチ事業の第2弾を実施しています。サンセットコイン事業も町独自として消費喚起を行っています。

ワクチン集団接種は、2回目接種の最終の方が、6月21日で終了となりましたので、8ヵ月後は、令和4年2月21日以降となります。

インフルエンザ等の感染も考慮し、3回目の追加接種は、3月頃を予定しています。

原材料価格 高騰に対する支援は 国策でやるべき

質問 商品の値上げ、石油価格の上昇などにより、町の観光、商工業者に、影響がでてくると思う。その場合

には、行政は支援することはできないのか。

町長 西伊豆町民だけが苦しい状況ではありません。本来は国策でやるのが、普通ではないでしょうか。しかし、町民、商工業者を守るためにも、グルメスクラッチの第2弾を実施しています。

質問 県の最低賃金が上がったので、中小、零細企業が負荷に耐えられるかが問題だと思う。雇用を守る観点からも、町独自の支援は。

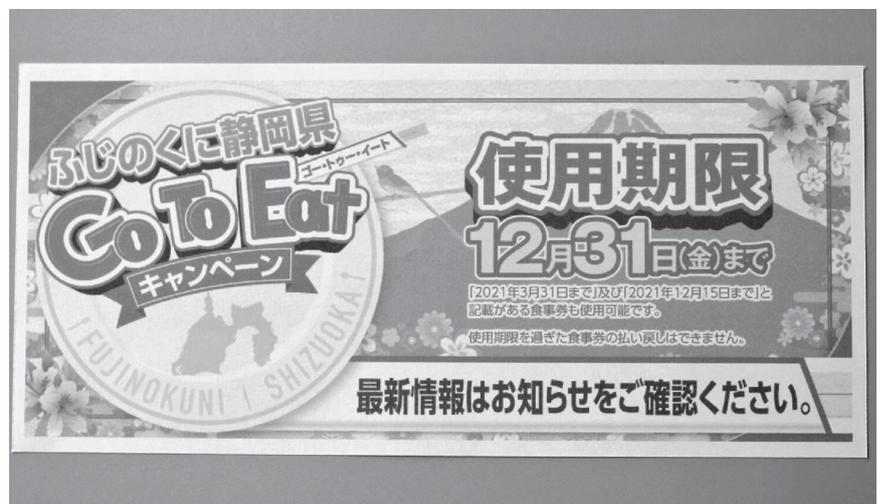
町長 町が賃上げをしたわけではないので、支援する考えはありません。

新型コロナ対策は

3回目の追加接種を予定

質問 人流の増加に伴い、感染状況の増加も想定され、新型コロナ第6波も懸念されることから、第3回目のコロナワクチン接種も含めて、今後の具体的な感染対策はどうなっているのか。

町長 65歳以上の新型コロナ



県GOTOイート終了後の、町の経済支援を期待する



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

健康福祉事業の担い手は

(町長) 事業所委託とボランティアに

質問 町では健康福祉事業が展開されているが、その担い手の多くは住民ボランティアである。持続可能な取り組みにするためには相当の報酬と後継者作りが必要と思うが町の考えは。

町長 事業所委託と、生き甲斐としてのボランティアが良いと考えます。

健康福祉課長 社会参加を促すセカンドライフ講座を開き後継者をつくりたいです。

ハザードマップの作成予定は

分かり易いものを作成中

質問 防災減災の3本柱として自助・共助・公助を町は推進している。自助では分かり易いハザードマップが求められる。また共助では効果的な防災訓練や住民の防災意識向上のために防災委員の役割が大きいと考えるが町の取り組みは。

町長 地震津波・土砂災害・洪水を網羅した総合的なハザードマップを現在作成し

ています。町民防災会議や防災まち歩きで得られた情報を盛り込み、字も大きくしてお年寄りに分かりやすくしています。

防災課長 防災委員の研修を増やしたり、県防災士講座の周知を図ります。

津波避難困難区域の解消は

避難タワーなどを検討中

質問 津波避難困難区域解消に向けての進捗状況は。

町長 仁科浜地区の避難施設については消防団第4分団詰所とは切り離して考え、

令和4年度の当初予算で設計業務を計上する予定です。大雨などの際の避難所としても使えるものを考えており、屋上にヘリポートを設置することも検討します。また、仁科築地区については工事車両が入れるところに津波避難タワーの建設を検討しています。

防災課長 宇久須浜柴地区においては住民防災センターと浜公民館が津波に耐えられないことがわかっており、新たな津波避難タワーの建設など検討します。



住民ボランティアがインストラクター

学校給食の無償化は一気に

(町長) 一遍にはできない



せり ざわ たかし
芹 澤 孝 議員

質問 当町の財政状況は、令和2年度で全ての地方債、債務負担額の借金を返しても、積み立て基金が23億2053万5千円残る。短期的に見ても一般財源の余裕度を示す数値を見ても、給食費約1800万円を入れたとしても悪くはならない。毎年度の収支も過去5年間最低でも1億5000万円以上の黒字なので、1800万円は予算内に飲み込める。

以上のことを勘案すれば給食費無償化を一気に進めるべきではないか。

町長 議会のほうは財政を考慮しろとずっと言い続けているわけで、そういった声がある以上、一括で1800万円出すとは言えませんので段階的にということで申し上げております。当然今後子供の数が減ってまいりますので、いずれは完全無償化というような運びにしたいと考えておりますけれども一遍にはできないのはそこに理由があります。

給食費の公会計を実施しないのか

令和8年を目途に実施したい

質問 国も給食費の公会計化（生徒の給食費を学校管理から町管理にすること）を推進している。教師の負担減、透明性向上、不正防止など多くの利点がある。公会計を実施しないのか。

教育委員会事務局長 国や県からは令和8年度を目途に開始するように依頼が来ていますので、それまでには公会計化したいと考えています。

訪問看護の実施状況は

年々増加する傾向です

質問 在宅での看取りが求められる中、在宅療養に対して訪問看護は重責を担っているが訪問看護の実施状況は。

健康福祉課長 確認できた範囲では令和2年度介護給付費及び予防給付費で合わせて年間351件が実施されています。

平成30年度は297件、令和元年度は320件、と訪問看護の実施は年々増加する傾向にあります。



給食の完全無償化を躊躇しているのか？

議会の動き

第 1 常任委員会報告

窓口税務課

10月12日に窓口税務課の所管事務調査を実施しました。

窓口税務課の体制

現在、本庁・宇久須支所・安良里出張所・田子出張所の職務を、正規職員14名、会計年度任用職員4名で担当しています。1月から3月の課税繁忙期は1名を期間雇用します。

支所・出張所の統廃合は利用者の動向を見て検討していきたいと説明を受けました。

令和3年度の税収見込み

令和3年度町税見込み額・7億9410万円
前年比8225万1000円の減収見込み。

町税は新型コロナウイルスの影響を受け、町民税・入湯税の減収予想、及び中小企業者の固定資産税の減免実施により減収見込です。

令和3年度中小企業者の固定資産税減免状況

◎家屋 1 / 2 軽減16件 全額免除64件
◎償却資産 1 / 2 軽減14件 全額免除39件

中小企業者の減免分6000万円は国が補填するので、税収は幾分改善されると思われます。

町民税は収入率（収入税額÷予定税額）を例年より2%低く、入湯税は50%低く見込まなければならないなど、新型コロナウイルスは町内経済に大きな影響をあたえています。

税の徴収と滞納処理

令和2年度の課税分（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税・鉱産税・入湯税）収入率の計は95.94%と前年比3%の減少となりました。

収入率の増減の要因として税の滞納がありますが2年度の滞納は286名で390万4000円でした。

近年は外国人労働者が職場を変わり税金を残したまま移動し、滞納となるケースが増えているとの報告を受けました。

滞納者からの回収が困難なケースは、静岡地方税滞納整理機構か賀茂地方税債権整理回収協議会のいずれかに回収を委託しています。

2年度は整理機構に3件委託しました。

各種相談業務

行政相談、保護司・更生保護女性会、社会を明るくする運動、人権擁護の事務を所管します。

行政相談員は国に対する苦情や要望、問い合わせを聞き、公平中立の立場から問題解決の促進を図っています。

◎例年12回開催・・・3年度は年6回を予定。
◎相談件数・H29年⇒16件 H30年⇒8件
R1年⇒8件 R2年⇒7件

行政相談員は無報酬の民間有識者2名で、総務大臣から委嘱されていますが、引き受てくれる方が簡単には見つからず苦慮するとの説明を受けました。

健康福祉課

11月30日に健康福祉課の所管事務調査を実施しました。

地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域での暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築運営を推進する事業です。

地域包括支援センターが重要な役割を担っていますが、介護予防、高齢者訪問、ケアマネ研修会など担当範囲が多岐にわたり、マンパワーが十分でないとの説明を受けました。

高齢者訪問は地震等の安全対策として防災課も同行するよう提言しました。

第2期国民健康保険事業実施計画 第3期国民健康保険特定健康診査実施計画

国保の受診・診療データ、特定健診などのデータを活用し医療費を抑制しようとする計画です。

令和2年度西伊豆町医療費

◎ 一人 / 医療費402,669円 / 〔県内2位〕

令和元年各受診率

◎ 特定健康診査37.4% / ドック等41.1%

令和元年度の特定健診目標受診率は46%です。特定健診・人間ドックの受診者と未受診者の医療費を比較すると未受診者は1.6倍とするデータがあります。

自己の健康を保つことが医療費抑制し国保税、介護保険料の抑制に繋がるため、特定健診、人間ドックの重要性を再認識しました。

買い物支援・移動支援

令和3年1月より、大沢里地区、神田・大久須地区を対象に普通乗用車及びミニバンを使用して、買い物支援の実証実験を始めました。

実証実験は定期巡回型で田子・宇久須地区でも順次進められていき、令和4年4月の正式事業開始を目指しています。

定期巡回型だけでなく高齢者個人のニーズ、要介護者、車椅子利用者のニーズにも応えられるようにと要望しました。



買い物支援の実証実験

配食サービス

令和3年3月配食事業者（伊豆の国市）が採算が合わないとして、撤退しましたが、なかなか後継の事業者が見つからない中、町内で引き受けて下さる事業者が見つかり現在に至っています。

配食サービスは高齢者の栄養補給と見守りによる安全確認の重責を担っていますが、現在土日は実施されていませんので、土日も実施するよう要望しました。

第1常任委員長 芹澤 孝

第 2 常 任 委 員 会 報 告

まちづくり課

9月28日にまちづくり課の所管事務調査を実施しました。

新過疎法の新たな施策について

新過疎法とは、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法です。

○第1条 人口の著しい減少等に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するために必要な特別措置を講ずることにより、これらの地域の持続的発展を支援し、もって人材の確保及び育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上、地域格差の是正並びに美しく風格ある国土の形成に寄与することを目的とする。

○第8条で特に新しく特筆すべき事項

- * 移住及び定住並びに地域間交流の促進並びに人材の育成に関する事項
- * 地域における再生可能エネルギーの利用の促進に関する事項

新過疎法では過疎地域の持続的発展が謳われており、それに基づいて色々な施策が行われています。

- * 西伊豆町森と海の6次産業化プロジェクト
循環型産業創出に向け、森林伐採から魚の養殖まで、一連の連携協定をした業者に知恵を出して頂き、新たな産業を生み出してもらうものです。
- * 移住定住促進計画
移住定住促進計画には、空き家バンク、お試し移住体験、40歳未満の夫婦の方の家賃補助などが行われており、また、賀

茂幼稚園の跡地を利用して、サテライトオフィスが開設されています。

コロナ後の観光施策について

観光係

- * 令和3年度 西伊豆町観光誘客支援事業（第1弾OTAクーポン発行事業）
事業費 18,000,000 円
- * 令和3年度 西伊豆町観光誘客支援事業（第2弾OTAクーポン発行事業）
事業費 12,000,000 円
- * 令和3年度 観光誘客支援事業（観光団体バス誘客事業）
事業費 10,000,000 円

商工係

- * 新型コロナウイルス感染症対策奨励金
事業費 13,500,000 円
- * 商工会スクラッチ事業補助金
事業費 3,800,000 円
- * サンセットコイン10%還元キャンペーン事業
事業費 110,000,000 円
（消費者還元分は10,000,000円）

まちづくり課では、これらの施策を行って、コロナで低迷している町の経済を復活させたいとのことでした。

その他、地域おこし協力隊や、自主運行バスふるさと納税についてなどを調査し、所管事務を終わりました。



西伊豆町創生は私達が担当

環境課

11月9日に環境課の所管事務調査を実施しました。

広域ごみ処理について

近年、人口減少等によるゴミの減少により、従来の施設規模では、非効率になることや、財政状況の悪化などにより、自治体単独でのゴミ処理施設を維持管理することが困難な状況となりつつあります。

国はダイオキシン類の排出削減に向けて「ゴミ処理の広域化」を推進し、ゴミの適正処理を確保することを目的に「持続可能な適正処理の確保に向けたゴミ処理の広域及び施設の集約化について」（平成31年3月29日付環循適発第1903293号）を発出しました。

静岡県もこの国の通知を受けて、現在、新たなごみ処理広域化計画を策定中です。

下田市、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町（以下「南伊豆地域」という。）における広域協議については、平成30年度から下田市が主体となって1市2町による広域化の検討に着手し、令和元年度から西伊豆町を加え1市3町における広域の可能性について協議を進めています。

南伊豆地域広域ごみ処理基本構想は、このような背景から現在の社会情勢などを踏まえ、南伊豆地域における適切なごみ処理事業の方向性を検討していくものです。

1市3町広域で整備する施設

下田市、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町の中間処理施設は、それぞれの市町で保有していますが1カ所に集約することで各市町が単独で保有するよりも経済面及び環境面においてメリットがあります。1市3町広域では中間処理施設として焼却施設（令和9年度稼働開始予定）と

資源化施設（令和11年度稼働開始予定）を整備します。

なお、最終処分場については、新たな事業用地の選定や建設に必要な費用の観点から現時点で新たに整備することが難しいため、各市町の一般廃棄物処理基本計画に基づき民間の最終処分場を想定します。

新斎場建設について

新斎場建設に係わる経緯は平成31年2月8日に田子地区の区長会長及び区長に、これまでの経緯説明をし、住民説明会について話し合いました。

- ①令和元年5月28日 住民説明会
- ②令和元年5月31日 住民説明会
- ③令和元年6月7日 住民説明会（午後の部）
- ④令和元年6月7日 住民説明会（夜間の部）
- ⑤令和元年9月24日 住民説明会
- ⑥令和2年11月18日 住民説明会

⑥回目の住民説明会では、田子地区へ建設候補地の地質調査の報告がされました。そこで、クリーンセンターとの重複稼働が問題となりました。以後、クリーンセンター広域化決定後、再協議となっています。

その他、現在のゴミ処理の状況、最終処分場などを調査して委員会を閉会しました。

第2 常任委員長 堤 和夫



どうなるクリーンセンター

文化財シリーズ

令和3年6月号より、西伊豆町の全域の文化財をご紹介します。(第3回)

仁科「佐波神社」の人形三番叟

文政8年(1825)佐波神社の大改修を祝って奉納されたのが初演とされます。人形を使う三番叟は、子浦、宇久須、内浦、佐波神社と海名野の神明神社です。佐波神社では演者28人(人形師9人、演奏10人、地謡8人、影1人)、かつては仁科浜共導社が受け継いでいました。



佐波神社の奉納三番叟は、慶長11年(1606)金山奉行大久保石見守長安が伝えたといわれています。神社の大改修を祝って初めて操り人形芝居として奉納、首は駿府人形屋初代長兵衛ほか2代3代の後継者が作ったとされ、かつては100以上の首が残っていましたが、現在は19の首が保存されています。毎年11月2日(日の入り三番)11月3日(日の出三番)として上演されています。現在は仁科浜連合区が受け継ぎ、貴重な郷土芸能の一つとなっています。
※出典 西伊豆町文化財総覧

町内探訪 41

夫婦二人三脚で営む 藤井わさび園



ふじ いゆきみつ
藤井幸光さん
ちよみ
千代美さん
(安良里在住)



ワサビは新鮮な「朝採り」を出荷

宇久須地区でワサビ農園を営む
藤井幸光さん・千代美さんご夫妻
にお話を伺いました。

質問 ワサビ園をはじめて何年目になりますか。

藤井さん 今年で8年目になります。2年前には会社を早期退職して専業のわさび農家になりました。

質問 ワサビ栽培でのこだわりはありますか。

藤井さん ワサビ栽培は水が命

です。天城山系の清流が流れるこの場所は、ワサビ栽培に適した水温とミネラル豊富な湧水があり、化学肥料を一切使用しない、品質にこだわったワサビ作りをしています。

質問 栽培以外に取り組んでいることはありますか。

藤井さん 先日、地元小学生を対象とした「ワサビ収穫体験」を行いました。

子供達には西伊豆町の素晴らしい自然を再認識してもらうと共に、その中で作られる良質なワサビの生産過程について学んでもらいました。

今後も地元ワサビの良さを知ってもらえるよう、栽培だけではなく収穫体験事業にも力を入れていきたいです。

【取材 堤 豊、松田貴宏】

令和4年1月14日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。TEL: 52-1962